武雄市立川登中学校　学校だより

『 轍（わだち） 』　～共に刻む、成長の軌跡～

令和8年 11月20日　No.15

文責　校長　貞松　弘人

佐賀県中学校駅伝大会　男子チーム大健闘！

11 月6日(金)、ふくどみマイランド公園において、佐賀県中学校総合体育大会駅伝大会が開催されました。駅伝大会には男子 18 チーム、女子 18 チームが出場し、川登中学校男子チームは8位となりました。一人一人が、それぞれの立場で目標を設定し、見事に走りぬきました。応援ありがとうございました。

駅　伝	男子	1区　石橋　侑大	2区　樋渡　伍希	3区　森　晴人
		4区　山口　琥翔	5区　福田　悠志	6区　副島　陽太

スクールコンサート　～東京アーティスツ合奏団～

11月10日(火)にスクールコンサートが開催されました。重厚なクラシックと聞きなじみのあるポピュラー音楽の2本立てのコンサートでした。目の前で本物の楽器の音を聞き、重なり合う弦楽器や管楽器のハーモニーに生徒たちも感動をしていたようです。



授業参観・講演会・学年 PTA への参加　ありがとうございました！

11月15日(日)に、学校において授業参観(ふれあい道徳)、講演会(命の大切さを学ぶ教室)、学年PTAを実施しました。授業参観(ふれあい道徳)、学年PTAにはたくさんの参観をいただき、本当にありがとうございました。

【1年生】



【2年生】



【3年生】



講演会では、『命の大切さを学ぶ教室』という演題で、浜崎満治（はまさきみちはる）さんを講師として、講演会を実施しました。生徒たちは真剣に話に耳を傾けていました。生徒を代表して3年の島川愛生さんから自分の言葉で感謝の気持ちを伝えることができました。

～お礼の言葉(島川愛生)～

今日のお話を聞いて、命は当たり前にあるものではなく、一日一日を大切に生きることが大切なんだと改めて感じました。大切な人といることが出来る毎日が、かけがえのないもので、そんな毎日を過ごせることへの感謝を忘れず、自分の命だけでなく、周りの人の命も大切にしながら生活していきたいと思います。

手作り弁当の日　～挑戦が育む自立への一歩～



　11月18日(水)に、今年度第1回目の「手作り弁当の日」が無事に終了しました。保護者の皆様におかれましては、食材の準備やお弁当作りの見守りなど、多大なご支援をいただき心より感謝申し上げます

「自分でできる範囲で挑戦する」という目標のもと、生徒たちは献立の考案から調理、お弁当箱へ詰め込む作業まで、それぞれの力に合わせて一生懸命に取り組んでくれたことと思います。自分が作ったお弁当を味わう表情はどの生徒も生き生きとしており、食べる楽しさや大切さを改めて実感する時間となりました。

「食」は生きる基本であり、自分自身を大切にすることにもつながります。今回のお弁当作りで得た「やればできる」という自信や食事を作ってくれる人への感謝の気持ちを、今後の学校生活や家庭生活の中でも大切に育んでいってほしいと願っています。







～校長室の窓から～

2年前に読んでいた森田直樹氏の「コンプリメントで不登校は治り、子育ての悩みは解決する」から思春期の子供に対する子育てのヒントを紹介したいと思います。



1. 子育ての基本姿勢

- 親にしかできない大切な役割
  子育てを他人に任せることはできません。
  我が子を育てられるのは親自身です。
- 愛情を注ぎ直す覚悟
  これまで育ててきた時間と同じだけの時間をかけて、じっくりと「育てなおし」をしていきます。
- 子どもを守るブレない心
  「何があってもこの子を守る」という揺るぎない覚悟と強い思いを持つことが第一歩です。

2. 子育てに必要な視点

- センスや才能ではなく「観察と努力」
  子育ての力は生まれつきのセンスではありません。日々の我が子の観察と、親自身のたゆまぬ努力によって身に付くものです。
- 「自信の水」で心を満たす
  親の手で子どもの心に「自信の水」を満たしてあげることで、子どもは本来の順当な成長へと向かい始めます。

3. 今日からできる実践アプローチ

できることから
始めてみませんか

- １日１回の「まなざし」のプレゼント
  １日に一度、「世界で一番大好きだよ」という思いを込めて、お子さんの目をじっと見つめる時間を作りましょう。
- 下手でもいい、愛情を伝える「コンプリメント」
  上手な言葉でなくて構いません。愛情を込めてお子さんの承認や承認の言葉(コンプリメント)を毎日伝え続けることが何よりの力になります。